

春日部・東中学校 第3学年「国語」

【内容】

月	単元	教材	学習活動	
4		朝焼けの中で	文章を読んで筆者の自然や人間などに対する思いを捉え、自分の意見をもつ。	
		握手	作品に用いられた言葉やエピソードから、表現の工夫、場面や登場人物の設定のしかたなどを捉え、作品を理解する。	
		季節のしおり 春	春の季語や、春を詠んだ和歌や俳句などを味わい、伝統的な言語文化に親しむ。	
1 深まる 学びへ		説得力のある考えを述べよう 批評文を書く	社会生活の中から関心のある事柄を決め、取材を重ねて考えを深める。	
		[関連教材] 「批評」の言葉をとめる	批評文を書くために、知識を広げたり深めたりする。	
		言葉1 和語・漢語・外来語	和語・漢語・外来語の使い分けに注意し、語感を磨き語彙を豊かにする。	
5		練習 評価しながら聞こう	自分の考えと比較し評価しながら相手の考えを聞き、自分のものの見方や考え方、表現のしかたに役立てる。	
		2 多様な 視点から	月の起源を探る	文脈の中における語句や図の使い方などに注意して読み、筆者の論理の展開のしかたを捉えて評価する。
			練習 推敲して、文章を磨こう	書いた文章を読み返し、文章全体を整える。
6		自分の魅力を伝えよう 記者会見型スピーチをする	聞き手の求める情報を的確に捉え、自分の経験や知識を整理し、用いる語句を工夫して話す。	
		漢字1 熟語の読み方	熟語に関する知識を広げ、文や文章の中で読んだり使ったりする。	
		豊かな言葉	俳句の可能性 [書く] 俳句を創作しよう 俳句十六句	筆者のものの見方や感じ方、表現のしかたなどを読み味わい、俳句の世界に親しむ。
言葉を使おう もっと「伝わる」表現をみざして [話す・聞く] 「伝わる」表現について考えよう	場の状況や相手に応じて言葉の選び方や伝え方を考え、互いの考えが生かせるようにする。			
7		文法への扉1 すいかは幾つ必要？ →文法①文法を生かす (p214-216)	文の成分の順序や構成など、文法についての理解を深め、日常生活や学校生活の中で の表現や読解に生かす。	
7	3 読書と情報 時代を伝える	読書生活をデザインしよう 未来のわたしにお薦めの本	目的をもって本を読み、自分の考えを広げたり深めたりする。	
		情報コラム 本の探し方・見つけ方	目的をもって本を読み、自分の考えを広げたり深めたりする。	
		蟬の声	目的をもって本を読み、自分の考えを広げたり深めたりする。	
		高瀬舟	目的をもって本を読み、自分の考えを広げたり深めたりする。	
		光で見せる展示デザイン	目的をもって本を読み、自分の考えを広げたり深めたりする。	
		読書案内	目的をもって本を読み、自分の考えを広げたり深めたりする。	
9	4 状況を読む	季節のしおり 夏	夏の季語や、夏を詠んだ和歌や俳句などを味わい、伝統的な言語文化に親しむ。	
		挨拶——原爆の写真によせて	作者のものの見方や考え方が表されている表現や使われている語句の効果に着目し、 人間や社会について考える。	
		故郷	情景や人物を描写する語句や表現を評価しながら、登場人物の心情や作者の意図を読み取る。	
		練習 話し合いを効果的に進めよう	資料などを活用して説得力のある話をし、話し合いが効果的に展開するように進行の しかたを工夫する。	
		言葉2 慣用句・ことわざ・故事成語	慣用句・ことわざ・故事成語などの知識を広げる。	
		文章の形態を選んで書こう 修学旅行記を作る	文章の形態を選択して適切な構成を工夫し、書いた文章を読み返して文章全体を整える。	
10	5 いにしえの 心と語らう	[関連教材]「記憶」と「資料」	語句の使い方など表現上の工夫に注意して読み知識を広げ自分の考えを深める。	
		季節のしおり 秋	秋の季語や、秋を詠んだ和歌や俳句などを味わい、伝統的な言語文化に親しむ。	
		音読を楽しもう 古今和歌集 仮名序	比喩表現などの表現上の工夫に注意しながら「古今和歌集 仮名序」の冒頭部分を音 読し、古典の世界に親しむ。	
11		君待つと——万葉・古今・新古今	語句の効果的な使い方や表現の工夫に注意しながら、それぞれの和歌を読み味わう。	
		夏草——「おくのほそ道」から	語句の効果的な使い方や表現のしかた、文体の特徴に注意して読み味わい、古典に親 しむ。	
11		[関連教材] 古典の伝統	古典作品について書かれた文章を読み、古典の世界に親しむ。	
		練習 お薦めの古典を贈ろう	古典に取材して自分の考えを深め、古典の一節を引用しながら、文章の形態や構成、 表現などを工夫して文章を書く。	

11	6 論旨を捉える	論理の展開に着目して読もう 新聞の社説を比較する [書く] 論理の展開を工夫して書こう	二つの社説を読み比べ、論理の展開のしかたを捉えて内容の理解に役立てるとともに、構成や展開、表現のしかたについて評価する。
		課題解決に向けて話し合おう 社会への提案をまとめる	社会生活の中から話題を決め、説得力のある話をし、聞き取った内容や表現のしかたを評価して、自分のものの見方や考え方を深めたり、表現に生かしたりする。
		文法への扉2 「ない」の違いがわからない？ →文法②文法のまとめ (p217-220)	2年までに学習した文法の知識を確かめ、理解を深める。
		ネット時代のコペルニクス ——知識とは何か	抽象的な語句に注意して論理の展開のしかたを捉え、比喩の役割など表現のしかたについて評価して読む。
12		漢字2 漢字の造語力	漢字の造語力について知り、語彙を豊かにし、文や文章の中で使うことができる。
1	7 未来へ向かって	三年間の歩みを編集しよう ポートフォリオを編み、語り合う	ポートフォリオを用いて、三年間の学習について簡潔に発表するとともに、内容や表現について評価し合い、自分の表現に役立てたりものの見方や考え方を深めたりする。
		季節のしおり 冬	冬の季語や、冬を詠んだ和歌や俳句などを味わい、伝統的な言語文化に親しむ。
2		学んで時にこれを習ふ ——「論語」から	漢文の言い回しに注意して、文脈における語句の意味を捉えて読み、人間・社会・自然などについて考え自分の意見をもつ。
		アラスカとの出会い	これからの自分について考えるために、「アラスカとの出会い」を読んで人間・社会・自然などについて考え、自分の意見をもつ。
		温かいスープ	国際社会を生きるために何が必要かを考えるために「温かいスープ」を読み、これからの自分の生き方について意見をもつ。
		聴くということ	文脈における語句の効果的な使い方や表現の工夫に注意して「聴くということ」を読み、これからの自分の生き方について意見をもつ。
3		わたしを束ねないで	詩における語句の効果的な使い方や表現の工夫に注意して読み、人間・社会・自然などについて考え、自分の意見をもつ。
		漢字3 漢字のまとめ	2年生までに学習した漢字に加え、その他の常用漢字のだいたいを読み、適切に使い慣れる。

【評価】授業の評価は次のような観点方法で行います。

評価の観点	評価の方法	評価の方法
関心・意欲・態度	国語に関心をもち、意欲的な態度で学習に取り組むことができるか。	授業態度・提出物
話すこと・聞くこと	構成を工夫して話しているか。 話し手の意図を考えながら聞いているか。	発表・話し合う様子
書くこと	構成を工夫して書いているか。	作文・感想文など
読むこと	様々な本や文章から内容や要旨を的確に捉えているか	定期テスト・ノート
伝統的な言語文化	古典や文法について理解を深めているか。	定期テスト・小テスト

【教材・テスト・学習方法】

<ul style="list-style-type: none"> ・教科書 ・プリント…基礎基本の定着を図るためや、個に応じた学習のためのプリント ・ワーク…基礎基本を身につけ、応用力を伸ばすための問題集 		
学期	テスト	提出物
1学期	小テスト・定期テスト	ノート・作文・感想用紙・硬筆・毛筆・ワークなど
2学期	小テスト・定期テスト	ノート・作文・感想用紙・硬筆・毛筆・ワークなど
3学期	小テスト・定期テスト	ノート・作文・感想用紙・硬筆・毛筆・ワークなど

<予習>

教科書を読む・意味調べ・漢字の学習

<授業中>

①授業準備（忘れ物をしない・チャイム着席）

②目的と意欲を持って授業に臨む（話す・聞く力能力、書く能力、読む能力を身につける）

③工夫してノートを作る

<復習>

その日に習ったことはその日のうちに確認する。漢字や言語の補充学習をする